



委員会レポート



総務文教

特色ある学校経営方針を調査

平成16年11月9日、町内の4つの小中学校を視察し、経営方針の特色について調査をした。

①幕別小学校

環境を美しく整備して、こうとする自主性を育てていくためのゴミの分別、自主・協働・協和の態度を育てる実行委員会形式の運動会、地域に解放された参観日の開催などを通して、「えがおいっぱい、やさしいさいっぱい、たのしい学校」を目指している。

②札内東中学校

児童・生徒の不登校問題を学校全体での取り組みとしてシステム化している。

以前は10名の不登校・不登校傾向の児童がいたが、現在は1名となっている。

不登校問題を解決するために「まっく・心の相談教室」などの関係機関との連携を密にするとともに、学校全体での話し合いに力を入れている。



授業の様子を視察（古舞小学校）

③古舞小学校

大規模校と比較して満たされない部分を、地域や他校との連携・協力を通して補っている。

公区、保育所、長寿会など一体となった運動会や収穫祭、地域の方を講師に招いてのスキー学校や絵画教室、あるいは札内中学校による吹奏楽の演奏会、札内南小学校生徒との交流といった取り組みが行われている。

④駒畠小学校

「確かな学力を基盤にしたふるさと教育」をテーマに学校経営が進められている。国語科の「音読、読解力・発表力」を高めるための朝の読書はもとより、自分の読んだ本を校内放送を通じて感想を発表するといったことが行われている。また、地域で飼育されている動物との触れ合い体験は、郡部校ならではの特色となっている。

民生

老人福祉・身体障害者福祉を調査

平成16年10月8日、老人福祉・身体障害者福祉の概要について調査し、その後、町内にある福祉施設を視察した。

平成15年策定の「幕別町高齢者保健福祉ビジョン2003」、平成13年策定の「幕別町障害者福祉計画」に基づき、福祉施設が進められているが、老人、身体障害者とも増加している中にある。

あつて、ニーズも多岐にわたっていることから、国や道の制度を補完するために町としても色々な施策を行っている。



フリーダム十勝「さつないハウス」で説明を受ける委員

札内（札内新北町）、介護老人保健施設「あかしや」（札内あかしや町）、特別養護老人ホーム「札内寮」（依田）、フリーダム十勝「さつないハウス」（札内共栄町）を視察したが、中でも、フリーダム十勝「さつないハウス」といったNPO法人が運営している障害者家族支援生活支援事業所でのサービスは、支援費制度の対象とならないものがあり、今後の課題であると感じた。